



## 平成31年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年9月12日

上場会社名 株式会社オーエムツーネットワーク  
コード番号 7614

上場取引所 東  
URL <http://www.om2.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大越 勤  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 澄川 新一  
四半期報告書提出予定日 平成30年9月14日 配当支払開始予定日

TEL 03 (5405) 9541

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年1月期第2四半期の連結業績（平成30年2月1日～平成30年7月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年1月期第2四半期	14,751	△2.6	518	△18.0	533	△42.6	274	△54.2
30年1月期第2四半期	15,144	△3.0	633	△22.4	929	△5.1	598	4.9

(注) 包括利益 31年1月期第2四半期 313百万円 (△49.6%) 30年1月期第2四半期 622百万円 (3.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年1月期第2四半期	40.62	—
30年1月期第2四半期	87.87	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年1月期第2四半期	16,295	12,317	75.6	1,824.53
30年1月期	15,608	12,166	77.9	1,802.07

(参考) 自己資本 31年1月期第2四半期 12,317百万円 30年1月期 12,166百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年1月期	—	0.00	—	24.00	24.00
31年1月期	—	0.00	—	—	—
31年1月期(予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成31年1月期の連結業績予想（平成30年2月1日～平成31年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,870	△0.7	1,620	16.0	1,740	0.2	1,065	0.3	157.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年1月期2Q	7,335,634株	30年1月期	7,335,634株
② 期末自己株式数	31年1月期2Q	584,453株	30年1月期	584,453株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年1月期2Q	6,751,181株	30年1月期2Q	6,816,181株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益、雇用環境の改善等、緩やかな回復基調が続いています。また、世界経済におきましては、欧州及び米国で緩やかな回復が持続したこと等、各国の経済情勢は堅調に推移しました。

当社グループ中核事業の属する食品小売業界におきましては、お客様の節約・低価格志向は依然として根強く、食の安心・安全に対する社会的関心の高まりの他、資材価格や人件費の高止まり、人口構造の変化による採用難の状況が続いております。

このような中で当社グループは、売上高増大のための販売促進活動に全社一丸となって取り組むと共に、お客様満足度の向上や安心・安全な商品を提供できる体制強化、品質管理の徹底などの諸施策の実施に努めてまいりました。小売部門においては、イベント型の提案販売や、レイアウト再構築等の既存店活性化を継続実施した他、生産性向上のために作業工程の見直し、適正な人員配置のためのシフトコントロールを強化しました。また既存店の改装や不採算店の閉鎖、新規ディベロッパーとの取組による新店開発や、新業態での新規出店等、各種施策を推進してまいりました。外食事業にあつてはステーキレストランチェーン事業及び焼肉・しゃぶしゃぶチェーン事業において、メニューの考案や不採算店対策及び共同の大型店開発等、競争力向上のための施策を実施してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高147億51百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は5億18百万円（同18.0%減）、経常利益は持分法投資損益の前年同期比が大きく減少した影響もあり5億33百万円（同42.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億74百万円（同54.2%減）となりました。

営業の概況をセグメント別に記述すると以下の通りであります。

## 「食肉等の小売業」

当第2四半期連結累計期間の開店は8店、閉店は5店であり、その結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は155店になりました。内訳は食肉小売店128店（前期末比増減なし）、惣菜小売店27店（同3店増）であります。当セグメントを取り巻く環境は上記記載の通りで、その結果、売上高は108億42百万円（前年同期比3.6%減）、営業利益は5億36百万円（同0.3%減）となりました。

## 「外食業」

当第2四半期連結累計期間の開店は2店、閉店は3店であり、その結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は52店になりました。売上高につきまして、(株)焼肉の牛太のカットセンターの取り扱い増加があったものの、(株)オーエムツーダイニングの店舗閉店があったこと等により39億63百万円（前年同期比0.1%減）となりました。営業利益につきましては、原価率の影響等から1億34百万円（同47.9%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の主要勘定の金額及びその前連結会計年度末比は以下の通りであり、大きな変動はありません。

流動資産	99億54百万円（前期末比+1.3%）
固定資産	63億41百万円（同+9.7%）
総資産	162億95百万円（同+4.4%）
流動負債	33億18百万円（同+15.8%）
固定負債	6億59百万円（同+14.0%）
純資産	123億17百万円（同+1.2%）
負債・純資産合計	162億95百万円（同+4.4%）

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年1月期の連結業績予想につきましては、平成30年3月13日発表いたしました通期の業績予想を据え置きとしております。

当社グループは、下半期の売上及び利益の比重が高いこともあり、今後の業績推移をより慎重に注視し、連結業績予想数値に見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,392,071	7,578,226
受取手形及び売掛金	328,608	264,311
テナント未収入金	1,383,949	1,294,761
商品及び製品	360,535	354,335
原材料及び貯蔵品	34,113	41,175
繰延税金資産	59,681	72,664
未収入金	171,727	217,890
その他	99,803	133,548
貸倒引当金	△2,596	△2,652
流動資産合計	9,827,894	9,954,261
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,386,096	3,785,490
減価償却累計額	△1,816,626	△1,847,960
建物及び構築物(純額)	1,569,469	1,937,529
機械装置及び運搬具	431,251	426,170
減価償却累計額	△267,885	△268,041
機械装置及び運搬具(純額)	163,365	158,129
土地	531,968	531,968
その他	1,751,033	1,832,674
減価償却累計額	△1,296,976	△1,316,939
その他(純額)	454,056	515,735
減損損失累計額	△533,259	△526,854
有形固定資産合計	2,185,600	2,616,509
無形固定資産		
投資その他の資産	112,535	110,292
投資有価証券	1,947,187	1,964,135
長期貸付金	1,679	72,377
退職給付に係る資産	311,148	308,354
繰延税金資産	76,785	82,174
敷金及び保証金	1,100,725	1,148,807
投資不動産	55,466	55,466
減価償却累計額	△44,480	△48,855
投資不動産(純額)	10,985	6,610
その他	55,427	52,514
貸倒引当金	△21,025	△20,725
投資その他の資産合計	3,482,914	3,614,248
固定資産合計	5,781,050	6,341,051
資産合計	15,608,944	16,295,312

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,656,891	1,688,336
未払金	365,005	682,894
未払法人税等	213,315	187,658
賞与引当金	67,350	108,792
その他	562,001	650,727
流動負債合計	2,864,564	3,318,408
固定負債		
退職給付に係る負債	215,486	220,013
役員退職慰労引当金	59,765	60,557
資産除去債務	245,679	269,436
その他	57,368	109,153
固定負債合計	578,300	659,161
負債合計	3,442,864	3,977,570
純資産の部		
株主資本		
資本金	466,700	466,700
資本剰余金	1,391,999	1,391,999
利益剰余金	10,735,536	10,847,722
自己株式	△576,698	△576,698
株主資本合計	12,017,536	12,129,722
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	138,344	168,864
退職給付に係る調整累計額	10,198	19,156
その他の包括利益累計額合計	148,543	188,020
純資産合計	12,166,080	12,317,742
負債純資産合計	15,608,944	16,295,312

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年7月31日)
売上高	15,144,509	14,751,198
売上原価	9,039,297	8,840,315
売上総利益	6,105,212	5,910,883
販売費及び一般管理費	5,472,154	5,391,891
営業利益	633,058	518,991
営業外収益		
受取利息	526	464
受取配当金	840	1,039
持分法による投資利益	251,937	—
家賃収入	13,492	12,453
協賛金収入	24,276	26,807
受取手数料	5,356	5,191
その他	6,958	7,051
営業外収益合計	303,387	53,008
営業外費用		
支払利息	1,239	26
不動産賃貸原価	4,700	4,620
持分法による投資損失	—	33,780
その他	574	124
営業外費用合計	6,514	38,551
経常利益	929,931	533,447
特別利益		
補助金収入	—	13,145
店舗売却益	—	6,742
特別利益合計	—	19,887
特別損失		
有形固定資産除却損	2,358	10,473
減損損失	94,042	50,060
店舗閉鎖損失	370	8,921
支払補償金	8,295	—
固定資産圧縮損	—	9,048
特別損失合計	105,066	78,503
税金等調整前四半期純利益	824,864	474,832
法人税、住民税及び事業税	259,374	207,032
法人税等調整額	△33,418	△6,414
法人税等合計	225,956	200,618
四半期純利益	598,908	274,214
親会社株主に帰属する四半期純利益	598,908	274,214

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年7月31日)
四半期純利益	598,908	274,214
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,108	21,644
退職給付に係る調整額	4,897	△1,351
持分法適用会社に対する持分相当額	9,709	19,183
その他の包括利益合計	23,715	39,476
四半期包括利益	622,624	313,690
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	622,624	313,690



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	824,864	474,832
減価償却費	215,210	216,145
減損損失	94,042	50,060
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△798	△244
受取利息及び受取配当金	△1,366	△1,503
支払利息	1,239	26
持分法による投資損益(△は益)	△251,937	33,780
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	2,328	2,793
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,433	4,526
賞与引当金の増減額(△は減少)	44,621	41,442
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△322	792
有形固定資産除却損	2,358	10,473
固定資産圧縮損	—	9,048
補助金収入	—	△13,145
店舗売却益	—	△6,742
支払補償金	8,295	—
売上債権の増減額(△は増加)	178,724	153,484
たな卸資産の増減額(△は増加)	31,146	△862
仕入債務の増減額(△は減少)	9,408	31,444
その他	△27,256	23,169
小計	1,138,994	1,029,523
利息及び配当金の受取額	1,366	1,503
利息の支払額	△1,123	△26
法人税等の支払額	△257,645	△235,012
補償金の支払額	△8,295	—
補助金の受取額	—	13,145
営業活動によるキャッシュ・フロー	873,296	809,133
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△200,000	—
有形固定資産の取得による支出	△219,323	△391,557
無形固定資産の取得による支出	—	△3,428
投資有価証券の取得による支出	△300	△466
長期貸付金の回収による収入	2,700	4,482
資産除去債務の履行による支出	△26,844	△21,865
敷金及び保証金の差入による支出	△50,090	△92,759
敷金及び保証金の回収による収入	31,603	44,678
その他	15,001	1,068
投資活動によるキャッシュ・フロー	△447,253	△459,849
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△371,055	—
配当金の支払額	△163,265	△163,129
財務活動によるキャッシュ・フロー	△534,320	△163,129
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△108,277	186,155
現金及び現金同等物の期首残高	6,391,991	6,592,071
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,283,714	6,778,226

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年2月1日 至平成29年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	外食業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,205,131	3,939,377	15,144,509	—	15,144,509
セグメント間の内部売上高又は 振替高	36,924	26,628	63,552	△63,552	—
計	11,242,055	3,966,006	15,208,062	△63,552	15,144,509
セグメント利益	538,692	257,147	795,840	△162,781	633,058

(注) 1. セグメント利益の調整額△162,781千円は、セグメント間取引消去△34,224千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△128,557千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」及び「外食業」において、損益及びキャッシュ・フローが継続的にマイナスとなっている店舗及び閉鎖を決定した店舗の店舗設備等の一部資産について、減損損失を認識しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において「食肉等の小売業」26,427千円、「外食業」67,615千円です。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年2月1日 至平成30年7月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	外食業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,814,676	3,936,522	14,751,198	—	14,751,198
セグメント間の内部売上高又は 振替高	28,092	27,064	55,156	△55,156	—
計	10,842,768	3,963,587	14,806,355	△55,156	14,751,198
セグメント利益	536,919	134,067	670,987	△151,995	518,991

(注) 1. セグメント利益の調整額△151,995千円は、セグメント間取引消去△25,392千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△126,603千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」及び「外食業」において、損益及びキャッシュ・フローが継続的にマイナスとなっている店舗及び閉鎖を決定した店舗の店舗設備等の一部資産について、減損損失を認識しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において「食肉等の小売業」45,224千円、「外食業」4,835千円です。

## 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。